

## 2021年8月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月15日

上場会社名 株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス  
 コード番号 2927 URL <https://www.ams-life.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役  
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長  
 定時株主総会開催予定日 2021年11月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年11月25日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 東  
 (氏名) 浅山雄彦  
 (氏名) 南方茂穂  
 TEL 054-281-5238  
 配当支払開始予定日 2021年11月26日

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年8月期の連結業績(2020年9月1日～2021年8月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期	22,368	41.4	2,245	105.3	2,161	96.6	1,495	121.0
2020年8月期	15,819	2.7	1,093	11.5	1,099	8.4	676	13.6

(注) 包括利益 2021年8月期 1,516百万円 (114.9%) 2020年8月期 705百万円 (4.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年8月期	107.12	106.30	13.4	8.0	10.0
2020年8月期	48.12		6.6	6.0	6.9

(参考) 持分法投資損益 2021年8月期 0百万円 2020年8月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年8月期	35,752	12,660	33.1	833.44
2020年8月期	18,548	10,463	56.4	744.04

(参考) 自己資本 2021年8月期 11,827百万円 2020年8月期 10,463百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年8月期	2,582	274	2,185	8,667
2020年8月期	1,299	458	574	4,170

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年8月期		10.00		10.00	20.00	281	41.6	2.7
2021年8月期		12.50		15.00	27.50	385	25.7	3.5
2022年8月期(予想)		15.00		15.00	30.00			

2022年8月期(予想)については、本日公表の「2022年8月期 配当予想(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 2022年8月期の連結業績予想(2021年9月1日～2022年8月31日)

現在、国内においては、緊急事態宣言が解除された直後であり、依然として新型コロナウイルス感染症の収束や、それに伴う顧客需要の回復の時期等が不透明な状況にあります。特に、当社グループの(株)さいか屋の百貨店店舗及び(株)なすびの飲食店舗は、新型コロナウイルス感染症防止策による外出自粛要請等は業績に大きな影響を与えます。また、前期大幅に伸長した海外部門においても東南アジアでコロナ拡大によるロックダウンが続いており、販売促進イベントの開催が制限されるなど業績に大きな影響を与える可能性がございます。よって、現時点においては、業績予想の合理的な見積りが困難であると判断し、2022年8月期の連結業績予想については未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
 新規 1 社 (社名) 株式会社さいか屋、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年8月期	14,387,699 株	2020年8月期	14,144,720 株
期末自己株式数	2021年8月期	196,594 株	2020年8月期	81,012 株
期中平均株式数	2021年8月期	13,961,560 株	2020年8月期	14,063,727 株

(参考)個別業績の概要

2021年8月期の個別業績(2020年9月1日～2021年8月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期	14,370	9.7	1,080	24.3	1,165	37.1	867	58.1
2020年8月期	13,095	2.1	869	3.4	850	1.3	548	5.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期	62.15	61.67
2020年8月期	39.03	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年8月期	26,548	10,098	37.7	705.25
2020年8月期	15,305	9,274	60.6	659.44

(参考) 自己資本 2021年8月期 10,008百万円 2020年8月期 9,274百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

現在、国内においては、緊急事態宣言が解除された直後であり、依然として新型コロナウイルス感染症の収束や、それに伴う顧客需要の回復の時期等が不透明な状況にあります。特に、当社グループの(株)さいか屋の百貨店店舗及び(株)なすびの飲食店舗は、新型コロナウイルス感染症防止策による外出自粛要請等は業績に大きな影響を与えます。また、前期大幅に伸長した海外部門においても東南アジアでコロナ拡大によるロックダウンが続いており、販売促進イベントの開催が制限されるなど業績に大きな影響を与える可能性がございます。よって、現時点においては、業績予想の合理的な見積りが困難であると判断し、2022年8月期の連結業績予想については未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

わが国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大により緊急事態宣言が断続的に発令されているものの、外出行動の抑制度は段階的に縮小しており、消費は回復傾向にあります。

このような状況の下当社グループでは、経営の多角化と新業態への進出による規模の拡大と企業体質の強化を図り、株式市場における当社グループの企業価値の向上を目的として、今年5月26日に株式会社さいか屋を、今年6月1日に株式会社なすびを連結子会社化いたしました。

業績につきましては、引き続き海外部門が好調を維持し、同部門の売上高が前期比268.8%と記録的な増収となったほか、通信販売部門・卸販売部門・医薬品事業も好調を維持したことにより、連結売上高は22,368百万円（前期比141.4%）と過去最高になりました。損益面につきましては、増収に伴う増産により、効率的な生産ができ、粗利益率が向上し、売上総利益が前期比150.7%となりました。また、医薬品事業を営む子会社本草製薬㈱の黒字化が寄与し、営業利益は2,245百万円（前期比205.3%）、経常利益は2,161百万円（前期比196.6%）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,495百万円（前期比221.0%）となりました。売上高及び各利益とも、通期の過去最高を記録しました。

## 事業別の状況

事業別の業績を示すと、次のとおりであります。

セグメント	事業部門	2021年8月期	
		売上高（百万円）	対前期増減比（%）
ヘルスケア事業	OEM部門	8,561	97.6
	海外部門	4,881	268.8
	通信販売部門	1,686	115.2
	卸販売部門	717	121.2
	店舗販売部門	1,478	85.4
	その他	106	91.7
	計	17,431	120.3
医薬品事業	—	1,573	118.4
百貨店事業	—	3,206	—
飲食事業	—	157	—
合計	—	22,368	141.4

## ①ヘルスケア事業

## ・OEM部門

巣ごもり需要増と健康意識の高まりが相まって、特に通信販売事業を営む顧客において、青汁やビタミン、ミネラル等の受注が堅調に推移いたしました。また、コロナ太り解消ニーズにより、ダイエットに結び付く訴求ができる機能性表示食品が好調を維持いたしました。営業活動については、移動自粛や展示会来場者数の減少等、厳しい環境が続きました。その結果、当部門の売上高は前年並みとなりました。

生産設備については、今年5月に自動外観カメラ検査機を新設したほか、今年3月にスティック包装印字検査機、今年7月にハードカプセル重量選別機を増設し、更なる品質向上と作業効率化を図りました。

## ・海外部門

当部門は、既存顧客において美容商材の受注が大きく伸びました。その結果、当部門の売上高は前期比268.8%と記録的な増収になりました。

## ・通信販売部門

機能性表示食品等を商材としたTVショッピング、新聞等の広告出稿を行い、新規顧客数が前期比114%と好調に推移いたしました。また、在宅時間の増加により広告に接する機会が増えたことも影響し、既存顧客においても受注が増加いたしました。さらに、昨年9月に出店した越境ECの中国天猫（Tモール）での受注も加わり、その結果、当部門の売上高は前期比115.2%となりました。

・卸販売部門

定番商材であるコラーゲン製品は、固定客等により安定的に推移いたしました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により滞っていた商談状況が徐々に改善し、機能性表示食品の受注が増加いたしました。その結果、当部門の売上高は前期比121.2%となりました。

・店舗販売部門

話題の成分NMNとPQQを配合したトータルサポートサプリメント『My WELLNESS』の発売準備を進めました（今年9月に上市）。また、感染防止対策を講じたうえで小規模催事やセミナー測定会等を実施いたしました。しかし、緊急事態宣言発令に伴う臨時休業や外出自粛による来客数の減少等が響き、当部門は苦戦いたしました。

以上の結果、ヘルスケア事業の業績は、売上高17,431百万円（前期比120.3%）、営業利益2,977百万円（前期比178.2%）（全社費用調整前）となりました。

②医薬品事業

医薬品市場は、大別して医師の処方箋に基づき病院・診療所、調剤薬局で購入する医療用医薬品市場と、医師の処方箋が要らず、ドラッグストアで購入する一般用医薬品市場に分けられます。

医療用医薬品につきましては、重点販売製品として位置付けている自社製造、医療用ジェネリック医薬品『ピムロ顆粒』（下剤）、生活習慣改善薬のジェネリック医薬品『タダラフィル錠』『フィナステリド錠』『シルデナフィル錠』が順調に売上を伸ばしたほか、一般用医薬品のOEM受注が増加した影響が加わり、利益面において安定的に黒字が出せる体制となりました。

以上の結果、医薬品事業の業績は、売上高が1,573百万円（前期比118.4%）、営業利益145百万円（前期比593.3%）となりました。

③百貨店事業

今年5月26日、さいか屋株式の過半数（議決権の所有割合50.36%）を所有し連結子会社化いたしました。再建の第一段階として年間約1億円の支払利息を削減するため、借り換えによる金利負担の軽減（2021年6月24日付、さいか屋発行リリース参照）を図りました。グループのシナジーを進めているほか、横須賀店の稼働率アップに向けた準備や、経費の見直し、合理化等の業務改善に取り組んでおります。

以上の結果、百貨店事業の業績は、売上高が3,206百万円、営業損失118百万円となりました。

④飲食事業

今年6月1日、なすび株式100%を所有し連結子会社化いたしました。静岡市内に日本料理店等16店舗を出店しております。地元テレビ番組にて取材・放映されることが多く、今年7月には全国放送の番組にも取り上げられ、知名度向上につながっております。また、新規出店の準備も進めております。

以上の結果、飲食事業の業績は、売上高が157百万円、営業損失87百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 流動資産

当連結会計年度末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ5,843百万円増加し、15,852百万円となりました。この増加要因は主として、売上代金及び注文代金の入金が増加したことや、(株)さいか屋などの企業結合により、現金及び預金が4,496百万円増加したことに加え、企業結合の影響等により、商品及び製品が594百万円、流動資産のその他が433百万円、原材料及び貯蔵品が346百万円増加したことによるものであります。

② 固定資産

当連結会計年度末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ11,360百万円増加し、19,900百万円となりました。この増加要因は主として、(株)さいか屋などの企業結合が影響し、土地が5,438百万円、建物及び構築物（純額）が2,919百万円、のれんが1,491百万円、投資その他の資産のその他が1,340百万円増加したことによるものであります。

## ③ 流動負債

当連結会計年度末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ5,597百万円増加し、11,802百万円となりました。企業買収資金の調達や借入の見直し及び1年以内返済予定の長期借入金の振替により、短期借入金が1,200百万円、1年以内返済予定の長期借入金923百万円増加しました。また、受注の増加や企業結合の影響により、支払手形及び買掛金が957百万円、流動負債のその他が811百万円、商品券回収損失引当金が633百万円、商品券が555百万円、未払法人税等が450百万円増加しました。これらが流動負債の主な増加要因であります。

## ④ 固定負債

当連結会計年度末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ9,408百万円増加し、11,289百万円となりました。この増加要因は主として、企業結合などが影響し、長期借入金8,608百万円、退職給付に係る負債が334百万円、繰延税金負債が283百万円、固定負債のその他が226百万円増加したことによるものであります。

## ⑤ 純資産

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,197百万円増加し、12,660百万円となりました。この増加要因は主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が1,181百万円増加したことに加え、企業結合により、非支配株主持分が743百万円、資本剰余金が242百万円増加したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、新たに(株)さいか屋や(株)なすびなどが連結子会社に加わった影響もあり、前連結会計年度末に比べ4,496百万円増加し、当連結会計年度末は8,667百万円となりました。

## ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は2,582百万円（前期比1,283百万円の収入増）となりました。

これは主として、たな卸資産の増加額361百万円、法人税等の支払額321百万円などにより資金が減少した反面、税金等調整前当期純利益2,157百万円、減価償却費611百万円、売上債権の減少額323百万円などにより資金が増加したことによるものであります。

## ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は274百万円（前期比183百万円の支出減）となりました。

これは主として、投資有価証券の売却による収入173百万円などにより資金が増加した反面、有形及び無形固定資産の取得による支出492百万円などにより資金が減少したことによるものであります。

## ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は2,185百万円（前期は574百万円の支出）となりました。

これは主として、長期借入金の返済による支出5,580百万円、配当金の支払額312百万円などにより資金が減少した反面、長期借入による収入9,500百万円などにより資金が増加したことによるものであります。

## (4) 今後の見通し

現在、国内においては、緊急事態宣言が解除された直後であり、依然として新型コロナウイルス感染症の収束や、それに伴う顧客需要の回復の時期等が不透明な状況にあります。特に、当社グループの(株)さいか屋の百貨店店舗及び(株)なすびの飲食店舗は、新型コロナウイルス感染症防止策による外出自粛要請等は業績に大きな影響を与えます。また、前期大幅に伸長した海外部門においても東南アジアでコロナ拡大によるロックダウンが続いており、販売促進イベントの開催が制限されるなど業績に大きな影響を与える可能性がございます。よって、現時点においては、業績予想の合理的な見積りが困難であると判断し、2022年8月期の連結業績予想については未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、国内の同業他社との比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を採用しております。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移や国内外の諸情勢を考慮の上、国際財務報告基準（IFRS）の適用について適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,725,642	9,222,136
受取手形及び売掛金	2,190,325	2,244,682
商品及び製品	1,043,265	1,637,968
仕掛品	938,108	853,393
原材料及び貯蔵品	1,013,745	1,360,068
その他	160,728	594,534
貸倒引当金	△62,627	△60,386
流動資産合計	10,009,188	15,852,396
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,383,198	22,315,272
減価償却累計額	△2,667,857	△16,680,695
建物及び構築物(純額)	2,715,340	5,634,576
機械装置及び運搬具	3,343,391	3,644,523
減価償却累計額	△2,510,136	△2,763,064
機械装置及び運搬具(純額)	833,255	881,459
土地	3,895,432	9,333,625
建設仮勘定	94,370	3,590
その他	557,009	1,033,436
減価償却累計額	△436,208	△875,037
その他(純額)	120,800	158,399
有形固定資産合計	7,659,199	16,011,651
無形固定資産		
のれん	—	1,491,664
その他	162,778	160,964
無形固定資産合計	162,778	1,652,628
投資その他の資産		
投資有価証券	596,124	736,408
繰延税金資産	77,079	120,772
その他	57,633	1,397,941
貸倒引当金	△13,115	△19,395
投資その他の資産合計	717,721	2,235,726
固定資産合計	8,539,699	19,900,007
資産合計	18,548,888	35,752,403

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,009,287	2,966,799
短期借入金	2,762,533	3,962,533
1年内返済予定の長期借入金	103,476	1,027,091
未払法人税等	196,273	646,464
商品券	—	555,410
賞与引当金	170,100	196,726
商品券回収損失引当金	—	633,609
ポイント引当金	23,743	63,235
その他	938,927	1,750,422
流動負債合計	6,204,340	11,802,291
固定負債		
長期借入金	1,082,326	9,691,252
長期未払金	138,827	89,163
繰延税金負債	15,214	298,568
役員退職慰労引当金	195,858	201,449
退職給付に係る負債	439,568	773,571
負ののれん	563	—
その他	8,280	235,190
固定負債合計	1,880,638	11,289,195
負債合計	8,084,978	23,091,486
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,131,839	2,131,839
資本剰余金	2,195,880	2,438,494
利益剰余金	6,238,981	7,420,777
自己株式	△59,314	△141,364
株主資本合計	10,507,387	11,849,746
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△59,684	△46,937
為替換算調整勘定	△2,023	7,701
退職給付に係る調整累計額	18,229	16,855
その他の包括利益累計額合計	△43,477	△22,380
新株予約権	—	90,138
非支配株主持分	—	743,413
純資産合計	10,463,909	12,660,917
負債純資産合計	18,548,888	35,752,403

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
売上高	15,819,281	22,368,076
売上原価	11,264,680	15,503,067
売上総利益	4,554,601	6,865,008
販売費及び一般管理費	3,460,922	4,619,768
営業利益	1,093,679	2,245,239
営業外収益		
受取利息	3,346	3,471
受取配当金	14,013	11,752
投資有価証券売却益	3,748	9,769
受取賃貸料	20,455	27,385
負ののれん償却額	563	1,139
助成金収入	11,708	13,993
役員退職慰労引当金戻入額	—	10,810
その他	9,553	12,243
営業外収益合計	63,389	90,567
営業外費用		
支払利息	32,922	50,040
投資有価証券売却損	563	13,439
賃貸費用	4,327	18,249
製品回収関連費用	10,508	3,388
支払手数料	—	41,961
控除対象外消費税	—	27,365
その他	8,918	19,392
営業外費用合計	57,239	173,837
経常利益	1,099,829	2,161,969
特別利益		
固定資産売却益	175	299
補助金収入	4,096	—
新株予約権戻入益	—	249
特別利益合計	4,271	549
特別損失		
固定資産除却損	9,712	3,980
投資有価証券評価損	35,185	—
減損損失	898	730
賃貸借契約解約損	7,227	—
貸倒損失	46,734	—
特別損失合計	99,757	4,710
税金等調整前当期純利益	1,004,343	2,157,807
法人税、住民税及び事業税	335,038	735,839
法人税等調整額	△7,378	△73,480
法人税等合計	327,659	662,358
当期純利益	676,683	1,495,449
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	—	△104
親会社株主に帰属する当期純利益	676,683	1,495,554

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
当期純利益	676,683	1,495,449
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,746	12,746
為替換算調整勘定	3,025	9,724
退職給付に係る調整額	18,229	△1,374
その他の包括利益合計	29,001	21,097
包括利益	705,685	1,516,546
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	705,685	1,516,651
非支配株主に係る包括利益	—	△104

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年9月1日 至2020年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,131,839	2,195,880	5,913,891	△59,284	10,182,327
当期変動額					
剰余金の配当			△351,593		△351,593
親会社株主に帰属する当期純利益			676,683		676,683
自己株式の取得				△29	△29
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	325,090	△29	325,060
当期末残高	2,131,839	2,195,880	6,238,981	△59,314	10,507,387

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	△67,431	△5,048	—	△72,479	10,109,847
当期変動額					
剰余金の配当					△351,593
親会社株主に帰属する当期純利益					676,683
自己株式の取得					△29
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	7,746	3,025	18,229	29,001	29,001
当期変動額合計	7,746	3,025	18,229	29,001	354,062
当期末残高	△59,684	△2,023	18,229	△43,477	10,463,909

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,131,839	2,195,880	6,238,981	△59,314	10,507,387
当期変動額					
剰余金の配当			△313,758		△313,758
親会社株主に帰属する当期純利益			1,495,554		1,495,554
自己株式の取得				△152,839	△152,839
株式交換による増加		242,649		70,788	313,438
連結子会社の自己株式取得による持分の増減		△35			△35
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	242,614	1,181,795	△82,050	1,342,359
当期末残高	2,131,839	2,438,494	7,420,777	△141,364	11,849,746

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△59,684	△2,023	18,229	△43,477	—	—	10,463,909
当期変動額							
剰余金の配当							△313,758
親会社株主に帰属する当期純利益							1,495,554
自己株式の取得							△152,839
株式交換による増加							313,438
連結子会社の自己株式取得による持分の増減							△35
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	12,746	9,724	△1,374	21,097	90,138	743,413	854,648
当期変動額合計	12,746	9,724	△1,374	21,097	90,138	743,413	2,197,007
当期末残高	△46,937	7,701	16,855	△22,380	90,138	743,413	12,660,917

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,004,343	2,157,807
減価償却費	508,926	611,631
のれん償却額	457	37,107
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	22,259	△8,241
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△900	6,639
商品券回収損失引当金の増減額 (△は減少)	—	9,444
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	4,606	7,886
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	39,866	36,825
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	14,999	5,590
受取利息及び受取配当金	△17,359	△15,224
支払利息	32,922	50,040
固定資産売却損益 (△は益)	△175	△299
固定資産除却損	9,712	3,980
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,184	3,669
投資有価証券評価損益 (△は益)	35,185	—
新株予約権戻入益	—	△249
補助金収入	△4,096	—
減損損失	898	730
賃貸借契約解約損	7,227	—
貸倒損失	46,734	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△26,326	323,748
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△171,809	△361,408
仕入債務の増減額 (△は減少)	195,013	△84,875
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△126,781	△97,472
その他	114,858	233,196
小計	1,687,377	2,920,527
利息及び配当金の受取額	17,368	15,205
利息の支払額	△28,736	△31,110
補助金の受取額	4,096	—
法人税等の支払額	△381,094	△321,925
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,299,011	2,582,697

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△716,000	△696,000
定期預金の払戻による収入	696,000	696,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△381,266	△492,076
有形及び無形固定資産の売却による収入	175	3,142
投資有価証券の取得による支出	△157,481	△27,072
投資有価証券の売却による収入	100,741	173,478
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	3,632
その他	△888	63,927
投資活動によるキャッシュ・フロー	△458,718	△274,967
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△1,210,000
長期借入れによる収入	700,000	9,500,000
長期借入金の返済による支出	△830,926	△5,580,518
自己株式の取得による支出	△29	△152,839
配当金の支払額	△350,154	△312,510
その他	△93,826	△58,828
財務活動によるキャッシュ・フロー	△574,936	2,185,303
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,084	3,460
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	268,440	4,496,493
現金及び現金同等物の期首残高	3,902,201	4,170,642
現金及び現金同等物の期末残高	4,170,642	8,667,136

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	ヘルスケア事業	医薬品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,490,400	1,328,881	15,819,281	—	15,819,281
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,490,400	1,328,881	15,819,281	—	15,819,281
セグメント利益又は損失	1,671,358	24,567	1,695,926	△602,247	1,093,679

(注) 1. セグメント利益の調整額△602,247千円は管理部門に係る全社費用の内、各報告セグメントに配賦していない費用等であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	ヘルスケア 事業	医薬品事業	百貨店事業	飲食事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,431,110	1,573,328	3,206,085	157,551	22,368,076	—	22,368,076
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	17,431,110	1,573,328	3,206,085	157,551	22,368,076	—	22,368,076
セグメント利益又は損失	2,977,530	145,773	△118,318	△87,181	2,917,803	△672,563	2,245,239

(注) 1. セグメント利益の調整額△672,563千円は管理部門に係る全社費用の内、各報告セグメントに配賦していない費用等であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)		当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	
1株当たり純資産額	744円04銭	1株当たり純資産額	833円44銭
1株当たり当期純利益	48円12銭	1株当たり当期純利益	107円12銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	106円30銭

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は次のとおりであります。

項 目	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	676,683	1,495,554
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	676,683	1,495,554
普通株式の期中平均株式数(株)	14,063,727	13,961,560
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	107,869
(うち新株予約権(株))	(—)	(107,869)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式 の概要	—	連結子会社の㈱さいか屋 が発行のA種優先株式 1,483,036株

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。